寒くなる前に

水道管も冬じたくをお願いします

気温が氷点下４℃以下になると水道管が凍結しやすくなり、破損することがあります。
寒波が来る前に家庭の水道管などを点検し、凍結対策をしましょう。

問い合わせ 上下水道課　☎076（283）7106　／　上下水道料金お客様センター　☎076（283）7109

■凍結しやすいところ

▷**屋外でむき出し**になっている水道管
▷**風当たりの強い場所**にある蛇口
▷**家の北側**で、**日の当たりにくい場所や床下**にある水道管

例えば…
- **給湯器に接続してある水道管**
- **散水栓、湯沸かし器の元栓等**
- **洗面所やトイレの蛇口**

■水道管などの凍結破損を防ぐには

▷屋外でむき出しになっている**水道管や蛇口の周りに**市販の**保温材等を巻きつける**と効果的です。
毛布やレジャーマット、発泡スチロールなどご家庭にあるものでも代用可能です。
▷さらに保温材等が水でぬれないように**ビニールテープなどで**下からすき間なく**重ねて巻きます**。

❗既に保温材が巻かれている箇所も劣化していないか確認！

■水道管が凍結した場合は …

▷破損しないためにも「**蛇口を無理にひねらない**」「**熱湯を直接かけない**」のが原則です。
▷凍ったときは、自然に溶けるのを待つか、**上からタオル等をかぶせて、ゆっくりとぬるま湯を**かけてください。
ぬるま湯を用意できない場合は、ドライヤーの温風や使い捨てカイロを当ててみてください。

❗熱湯を直接水道管や蛇口にかけると、破裂する危険があります！

■凍結で水道管が破損した場合は …

▷漏水していないか確認！

(1) 家の中の蛇口を全て閉める。
(2) メーターボックス内にあるパイロット［左下図参照］を確認する。パイロットが回転していたら、漏水が考えられます。

▷早く止水する

漏水を見つけたらボックス内にある止水栓（元栓）をまわして止水してください。

ここが回転していたら、漏水が考えられます。

時計回りにまわすと止水します

▷水を止めたら業者へ修理依頼！

市指定給水装置工事事業者へ修理を依頼してください。事業者はホームページでご確認ください。

❗修理費用は自己負担となります。

事業者一覧

■メーターボックス周辺の除雪にご協力を

▷冬季間は、積雪によりメーターの検針が困難となることがあります。検針ができない場合、使用水量を認定させていただくことがありますが、メーターの確認が遅れると漏水の発見が遅れてしまうことがあります。
▷メーターボックスの上に雪が積もっている場合は、検針ができるよう、メーターボックス周辺の除雪にご協力ください。

❗水不足の原因となりますので、水道を融雪目的で使用することは控えてください。

■長い間家を留守にする場合は …

▷仕事や旅行などで長期間不在にする場合や空き家になっているところは、あらかじめ止水栓（元栓）を閉めるなどの凍結対策をしましょう。
▷また「水道使用中止届」を提出しておくと水道料金がかかりません。